



▲運行再開記念式で式辞を述べる中嶋市長

運行再開までには、国や県そしてJR西日本様の各段のご理解、署名や清掃活動など地道な取り組みを続けてこられた皆さんの熱意、またご浄財をお寄せいただいた多くの皆さんの善意に支えられてこの日を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

今後、信楽高原鐵道をご利用いただく皆さんにご満足いただけるよう、精一杯努めていく考えです。

(記念式式辞より要約)

▶運行を再開し新しい袖川橋梁を渡るSKR車両



# SKR新たな旅立ち

平成26年11月29日。約1年2か月の歳月を経て、SKRが運行再開を果たしました。早朝から行われた記念式と出発式には多くの人が駆けつけ、その新たな旅立ちを喜び合いました。歓喜に包まれたSKR復活の1日を振り返ります。

再開記念の特別ヘッドマークを掲げた信楽発貴生川行き3両編成の一番列車は、この日を待ち望んだ乗客で満員となりました。

9時46分、子ども駅長を務めた上田泰雅<sup>うへだたいが</sup>さんの発車合図に続き、汽笛を鳴らして列車が動き出すと、駅に詰めかけた多くの人々が手を振り、拍手で見送りました。

感動して目頭を押さえる乗客もいました。

沿線では、小旗や横断幕を手にした人々が立ち並び、列車に向かって大きな声でエールを送る姿がありました。

信楽一貴生川を結ぶ全長14.7kmのレールには地域の人々の「くらし」が託され、SKRもまた地域の人々に支えられています。

SKRはこの日、地域とともに新たなスタートを切りました。未来に向けて走り続けるために一。



▲久しぶりの車窓風景を楽しむ乗客



▲ホームに掲げられた感謝のメッセージ



▲貴生川駅に到着する一番列車



▲子ども駅長の合図で信楽駅を出発する一番列車



▲雲井駅で列車を見送る保育園児



▲沿線から送られた温かな声援